

よろこび歳時記

宮崎県、北海道で水行!

コロナ退散

一〇八名が水行で祈願
宮崎県児湯郡都農町
龍雲寺聖徒団 (吉田憲由団長)



座の法要を通して行った。当日は寒波により表面が凍った水が... 桶にくんだ水を掛け声に合わせて一...

寒波が訪れた晴天の二月六日、宮崎県都農町龍雲寺聖徒団(吉田憲由団長)において第十六回「ちからわく水行」が開催された。昨年はコロナ禍での一斉水行は見送り分散個別水行となり今年も開催が危ぶまれていたが、町役場の方々、スタッフの皆様と「どうすれば開催できるのか」と意見を話し合い協力頂き、無事開催に至った。

「地から湧く水」と「力湧く」をかけた「ちからわく水行」として、町内外から百人以上が訪れる行事である。例年は各班に別れてふんどし・白衣姿で一斉に水をかぶり、着替え後に一斉に祈禱を受けるが、今年は水行・祈禱も全て各班事に分けて全七

座の法要を通して行った。当日は寒波により表面が凍った水が... 桶にくんだ水を掛け声に合わせて一...

吉田団長は「昨年はみんなで水行は出来なかったが、今年は多くの方々にご協力を頂き、無事に開催することが出来ました。コロナ禍で開催も危ぶまれたが力を合わせることで、どんな事も乗り越えられるのだと感じた。来年も地域の方々と協力して地域の為に開催させたい」と話した。

北海道北広島市
昌福寺聖徒団 (野中隆謙団長)



いざ水行修行!

二月十三日、北海道北広島市昌福寺聖徒団(野中隆謙団長)



大雪に囲まれる極寒の中

今年で参加五回目となる立蔵潤さん(四十歳)は、北広島市内でダーツバー「Cross Time」を経営し、店の繁盛を願うのはもちろん、自身にとってはプロライセンス取得に挑戦するため決意の水行となった。実は団長上人の趣味がダーツである。いわゆる下手の横好きで、ダーツ修行のために店へ足を運んでいる。

雪も積もり、寒さ厳しい二月が近づいてくると、お店では水行のことが話題に挙がる。経験した者でないといふ話も聞かされ、興味津々に聞き、次は私も参加を決意する。ダーツ仲間が水行仲間となり、一人またひとりと増えていく。

初挑戦となった長野義喜さん(二十三歳)と秋田谷朋輝さん(二十三歳)の同級生仲良しコ

「よろこび」をもっとに 魅力あふれる誌面に! 全国通信員会議を開催



zoomによる会議

で開催された。通信員は全国の各地域に配置され、当誌「よろこび」の毎月発行のために記事を提供している。

当日は感染症対策のため、主催の教宣部員もリモートにて参加。全国の通信員十九名の出席で開催された。今年度も初めに、末吉観道靈断院長が富山県のご自坊から通信員に向けて挨拶された。その後、靈断院教宣部のメンバーが中心となり、今後の誌面よるこびの誌面充実や記事の書き方、新しいコラムの提案など多くの意見が交わされた。

途中、通信員の阪口上人、武見上人よりこれまで培ってきた「よろこび」への想い、通信員としての想いが熱く語られ、参加者一同感極まる場面もあった。

最後に吉田憲由教宣部長より「全国の聖徒さんあっての「よろこび」です。聖徒さんの想いその信仰を、通信員と教宣部一丸となって全国に発信していきたい。今年度も聖徒さんのよろこびの為に頑張ります」と挨拶をし、幕を閉じた。

一人で悩まずに九識靈断法

わからないことは
ほとけさまに相談

くしきれいだんぼう
九識靈断法

悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識靈断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

相談内容
家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転 旅行 企画 など

相談例 一年以内に野球部のレギュラーになれるか
(相談者) 高校一年生 男性

本人が祖父母に伴われて来寺。春から高校へ入学し、野球部に入り寮生活を始めた。中学時代は、野球の技術が周囲に認められたが、そのためか少々甘やかされたという。高校入学に際しても夏の甲子園出場校からの誘いもあったが、あえて進学である今の高校に入学。ところが入学してからはすべてが自分の思いと異なるようである。また、怪我をしたりして、勉強も運動も手に付かない様子である。この調子で一年位の間レギュラーになれるだろうかという相談である。

【御宝前にて靈断】
【靈断師による指導】
今のままでは、レギュラーにはなれません。甲子園出場校に行かなかったことを悔いるのではなく、皆で甲子園に行けるように頑張りなさい。俱生神月守を身に付けて練習に打ち込めば、神仏のご加護をいただき、甲子園も決して夢ではないと指導した。

【結果】
翌年、二年生の時、この高校は夏の県大会に優勝して、十五年振りの甲子園出場を果たした。しかし、本人はベンチには入ったが、グラウンドで活躍することはできなかった。

zoomによる会議

で開催された。通信員は全国の各地域に配置され、当誌「よろこび」の毎月発行のために記事を提供している。

当日は感染症対策のため、主催の教宣部員もリモートにて参加。全国の通信員十九名の出席で開催された。今年度も初めに、末吉観道靈断院長が富山県のご自坊から通信員に向けて挨拶された。その後、靈断院教宣部のメンバーが中心となり、今後の誌面よるこびの誌面充実や記事の書き方、新しいコラムの提案など多くの意見が交わされた。

途中、通信員の阪口上人、武見上人よりこれまで培ってきた「よろこび」への想い、通信員としての想いが熱く語られ、参加者一同感極まる場面もあった。

最後に吉田憲由教宣部長より「全国の聖徒さんあっての「よろこび」です。聖徒さんの想いその信仰を、通信員と教宣部一丸となって全国に発信していきたい。今年度も聖徒さんのよろこびの為に頑張ります」と挨拶をし、幕を閉じた。

第百二十四回 日蓮大聖人の歩まれた道

『立正安国論』客六に問う(その二)

靈断院教務部長
小泉 輝泰

「その上、『法華経法師品』に云く、『薬王今汝に告ぐ、我が所説の諸経、しかもこの経の中に於いて法華最も第一なり』と。また云く、『我が所説の経典無量千万億にして、已に説き今説き当に説かん。しかもその中においてこの法華経最もこれ難信難解なり』と。(中略)涅槃経に云く、『もし善比丘ありて、法を壊る者を見て、置いて呵責し駈遣し挙処せずんば、まさに知るべし、この人は佛法の中の怨なり。もしよく駈遣し呵責し挙処せば、これ我が弟子、真の声聞なり』と」

(立正安国論)
主人は更にこのように続けました。



「釈尊は『法華経法師品』の中で薬王菩薩に向かつて次のようにいわれました。『薬王よ今汝に告げよう。私の説いてきた数多の教えの中で、この法華(経)こそが第一の経なのである』と。また更に『私が説いた教えは千万億にも及ぶが、過去、現在、未来においてもこの法蓮経が最も信じ難く、理解し難い経なのである』と」

すべての経典の教主である釈尊をしてそう仰せになるのですから、これはもはや疑いようのない事実でありましょう。その最上級の教えである『法華経』を蔑ろにせんとする人々を、捨て置くわけにはいきません。主人はこう付け加えました。

「また佛は『大般涅槃経』の壽命品に、『もし善良な僧がいたとしても、正法(法華経)を破る者を見ても咎めせず、追放しようともせず、その大謗法を正そうともしないのであれば、かえってこの善僧も佛法の中の怨となるのである。しかし彼ら謗法の者を厳しく咎め、過ちを正し、追放せんとするならば、これこそ真の私の弟子と

いえよう』と仰せなのです」

いかに自分は正しい教えを信じようとも、その教えを誹謗する者を咎めせず捨て置けば、自分もまた同罪なのだと思はなくてはならぬ。尚更だ黙って見ているわけにはいきません。正法を護ることは、その教えを正しく弘め伝えることに他ならず、そのために障害となる邪心を正さねばならないのです。

例えは、もしも自分が九識靈断法の導きと出会い、俱生神さまの御守護に浴したとしても、隣で苦しむ人を見捨ててしまっただけでは、本當の信仰者とはいえないでしょう。「これは立派なお上人の仕事、私などはとて...」と躊躇するのではなく、「あのお寺へ行ってみなさい。あそこで御守りさんをいただいてくれれば」と正しい救いの道に導くことが、真の如来使、ご本佛さまの弟子と名のることが出来るのではないのでしょうか。主人(日蓮大聖人)の行動は、それを示されているのです。

※四月号の記事内容に誤りがございました。訂正し、再掲載させていただきます。

日蓮宗清隆寺にて

宗祖日蓮大聖人御降誕八百年慶讃法要開催 一塔両尊仏像・諸天善神開眼並びに墓地完成奉告式を厳修



開眼法要を行う林団長

浄財を拝受、まさに清隆寺が一つになって奉告式を迎えることが出来た。

中央に題目宝塔、その左右に釈迦牟尼仏と多宝如来を奉安する日蓮宗独特の本尊形式で造立が実現した。また新潟県法華宗陣門流総本山本成寺管長小松法順親下感得の三十番神を新たに遷座し、更にお寺の守護龍神・白富龍王神と併せて開眼した。

開眼法要では、まず日蓮宗常任布教師である杉並中道寺住職山形教亨上人が高座説教を行い、日蓮聖人の龍口法難について丁寧な語りを行った後、「開眼された光輝く仏様をお手本に、お題目を唱えて心を磨いて下さい」と説いた。

御宝前には、一塔両尊の本尊、三十番神、加藤清正公像、龍神の宿る水晶を安置し、慶長の役で使われた「破邪の題目」の旗指物も奉安して開眼法要を午前と午後の二回に営み、導師の林住職はじめ九名の僧侶により雅楽が奏でられる中で読経唱題、木剣加持祈禱を行い魂を込めた。

清正公の廟所がある熊本・本妙寺の住職、池上正示住僧も祝いに駆け付け、「林住職は戦前の仏像を再建しよう」と、毎年正月・九月にわざわざ熊本まで来られて極寒の日も酷暑でも一日中読経唱題していた」と、地道に続けてきた努力を讃えられた。

た。

本会からも大塩孝信会長が出席され祝辞を述べた。大塩会長は林団長が僧侶としてスタートした時の話から始まった。「墓所の整備という大英断、この度の大事業は林団長は勿論、総代、檀信徒、聖徒の皆様の協力なしでは成し得なかったと思います。本堂に大変だったと思えます。」と涙ながらに述べた。また林団長の師父である本会の終身名誉会長であった新聞智雄元会長に大変お世話になったことを述べられ「師父上人は霊山浄土で喜んでおられると思えます。しかしここからがスタートとして新たな聖徒を増やし、更に清隆寺を発展させて頂きたく思います」とエールを送り祝辞を締められた。

今回の法要の日程については令和四年に延期するべきとも考えたが、九職靈断法を取り十二月二十三日と日にちを定めて準備を進めた。

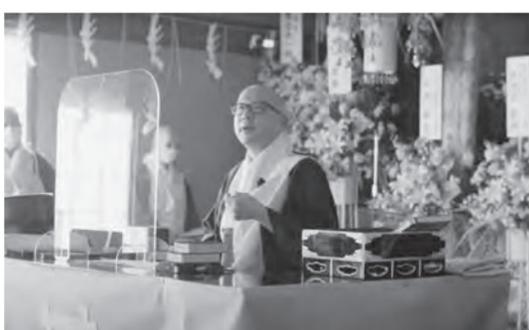
林団長は「コロナ禍で宗門や教区、管区の行事は軒並み中止や縮小を余儀なくされる中で、結果として午前と午後の二度に渡り立派な法要を営むことが出来たことはこの上ない喜びであり、俱生神様と九職靈断法の有難さ素晴らしさを僧侶である私自身が「自受法薬」させて頂きました。」と語り、「来年は希望通りの法要が難しい」とお示し

の通り年明けからオミクロン株によるコロナ禍第六波の流行が始まったのは周知の事実である。

また林団長は「興隆を極めたであろう戦前の状態を目指して精進し、立派なお寺を次につなぐことで先師や父母への報恩としたい」と話した。今後、法華経八巻約七万字を書写し、由来と共に中央の宝塔に納め、天四海皆帰妙法と国土安穩・宝祚長久・国家安全・国民隆昌を祈念される。



大塩孝信会長のご挨拶



山形教亨上人による高座説教

みおしえ



佐渡の国は紙候はぬ上、面面に申せば煩いあり。一人ももるれば恨みありぬべし。此の文を心ざしあらん人人は寄合て御覧じ料簡候て心なぐさませ給え。

『佐渡御書』文永九年(一二七二) 聖寿五十一歳 訳・佐渡国は紙がないうえ、一人ひとりに手紙を差し上げるのは煩わしく、また一人でも漏れれば不満があるでしょう。この手紙を心ざしのある方々は寄り集まってご覧になり、よく思索して心を慰めてください。



教学部長 和歌山県龍光寺聖徒団長 松森孝雄

大聖人の門下へのお手紙は、その大半が、直接お会いすることが難しくなった佐渡流罪以降、特に身延に入られてからのものである。

迫書の渦中にある弟子、肉親の死や人生の苦境に喘ぐ門下の心の機微を察して、心情を思いやられる大慈大悲からほごぼしるお言葉がつづられている。「いころ」と「いころ」が響き合う、門下との温まる交流に満ちているからこそ、時を超えて、拝する私たちの心に、尽きせぬ感動が迫ってくるのである。

『佐渡御書』は、自らも命を狙われていた流罪中に御執筆の書である。紙が不足していたため、大聖人は一通のお手紙に思いの丈を託し、門下全体に伝えられたのである。 迫書の嵐の中、少人数が集まってお手紙を拝し、自分たち弟子を思われる師匠の慈愛に触れ、門下はどんなに胸を熱くしたことであろうか。

さらに、大難を覚悟の上で、広宣流布に邁進精進されるお姿に触れ、不屈の精神を奮い起こしたに違いない。皆で聴聞することで、共に信仰を貫くことを誓い合い、励まし合い、清新な決意で出発し合った情景が目に見えぬ。

この師弟の交流は、現代に生きる私たちにあっても同じである。

「このお手紙は私にいただいたのだ」「私のために言われているのだ」と、我が身に体して、御遺文を拝していくことが大切なのである。

幸いにも現代において、大聖人の遺された多くのお手紙を容易く拝することができるのは、先師が「我がこと」として受け止め、格護してくださったからである。

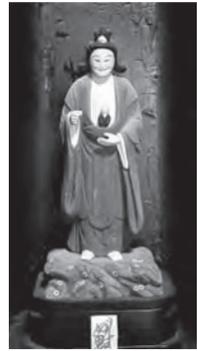
教理・教学を学ぶことも大切であるが、机上の空論に陥らぬよう、まさに「血湧き肉踊る」お手紙として受け止めることこそが、我が身の幸せのためのみならず、大聖人の御心を次代に繋げていく大きな原動力となる。

是非、日頃より御遺文に触れて頂きたいものである。

おらが寺の守護神(第一回)

国姫様の鬼子母神

宮崎県本東寺聖徒団(吉田海心団長)



宮崎県延岡市の本東寺聖徒団(吉田海心団長) 本堂南側の櫻の根元に、大きな笠石が地に伏して居る。日向御前(慶安二年五十二歳にて没)の墓である。 幼名は国姫といひ徳川家康と織田信長の曾孫にあたる。二十一歳の若さで亡くなった家康の嫡男信康に一番似ているといふので、家康に大変可愛がられた。後に延岡城の城主となる松尾城主有馬直純公の正室である。本東寺は松尾城の鬼門寺に當たる。

日向御前は、非常にお転婆娘で男勝りの曾孫にあたる。二十一歳の若さで亡くなった家康の嫡男信康に一番似ているといふので、家康に大変可愛がられた。後に延岡城の城主となる松尾城主有馬直純公の正室である。本東寺は松尾城の鬼門寺に當たる。

日向御前は、非常にお転婆娘で男勝りの曾孫にあたる。二十一歳の若さで亡くなった家康の嫡男信康に一番似ているといふので、家康に大変可愛がられた。後に延岡城の城主となる松尾城主有馬直純公の正室である。本東寺は松尾城の鬼門寺に當たる。

日向御前は熱心なる仏教法華の信者であった。守り本尊の鬼子母神像に対しては、毎日女性としての慎ましい祈りと礼拝を捧げて、敬虔な信仰に生きられた事と伝えられている。 由緒ある鬼子母神尊像は本東寺にお祀りされている。四百年たつ今も市内外を巡して安産、子授、子育てのお参りが後を絶たない。

であった。延岡市の中心にある愛宕山は、昔から女人禁制の霊地とせられていた。しかし日向

よるこびちゃんの質問箱

月守りを洗濯してしまいました・・・

この前、よろこびちゃんのお友達から聞いたのだけど、洋服と一緒に間違えて俱生神月守を洗濯してしまって月守りがボロボロでどうしたら良いのか困ってしまったみたい。

間違えて洗濯してしまったのは仕方ないわね。 大切なお守りだから、そのままでも大丈夫なら翌月まで着帯しましょう。 もし、形もなくボロボロになってしまったのなら月守りをもらっているお



よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までご連絡ください。

寺に行って新しい月守りと交換してもらえるか聞いた方がいいわね。 いつも私たちが守ってくださる俱生神様に感謝をお題目をお唱えして、大切に着帯しましょうね!

身延山でお会いしましょう

仏殿



宝永5年(1708) 33世日亨(にちこう)代に創立。 文政12年(1829)に焼失。天保3年(1832) 59世日詔代に再建。嘉永5年(1852) 66世日薪上人代に転地改造。しかしながら、嘉永7年(1854)、転地わずか2年で地震により崩壊。 明治9年(1876) 西谷本行坊客殿を曳き仮堂とする。 昭和6年(1931) 日蓮聖人第650遠忌を記念して、81世日布上人代に全国寺院檀信徒の丹精にて建立された。 全国檀信徒のご納骨・ご納牌・追善法要が毎日ここで行われています。

進め!

繋がる霊断師

宮城県塩竈市 顕妙寺聖徒団 日野教仁上人

大学進学と同時に故郷を離れ、都内寺院で十六年を過ごす。

令和二年度より故郷へ戻り、令和三年の講習会を経て、顕妙寺で初めての霊断師となった。

妙齢になって、若者たちに混ざって一生懸命に勉学に励んだ事は良い経験になった。

今世を終えた時に、日蓮聖人に「足手まといであった」と言われぬよう、教学の研鑽と檀信徒教化に邁進したい。



よろこびちゃんのクッキング

半熟ゆで卵と春ニンジンのトーストサンド



〈材料 1人分〉

ニンジン(千切り、適量)、塩少々、好みのかたさのゆで卵1個、食パン2枚、マヨネーズ適量、粗びき黒こしょう少々。

〈作り方〉

①ボウルに千切りしたニンジンを入れ、塩をふって手でもむ。しんなりしたら水気を絞る。

②好みのかたさにしたゆで卵は3/4等分に切る。

③食パンはオーブントースターで焼き、マヨネーズを片面に塗る。

④マヨネーズを塗った面を

上にした食パンに千切りニンジン、ゆで卵の順にのせ、粗びき黒こしょうをふる。マヨネーズを塗ったもう一枚の食パンではさむ。

〈ゆで卵の上手な作り方〉

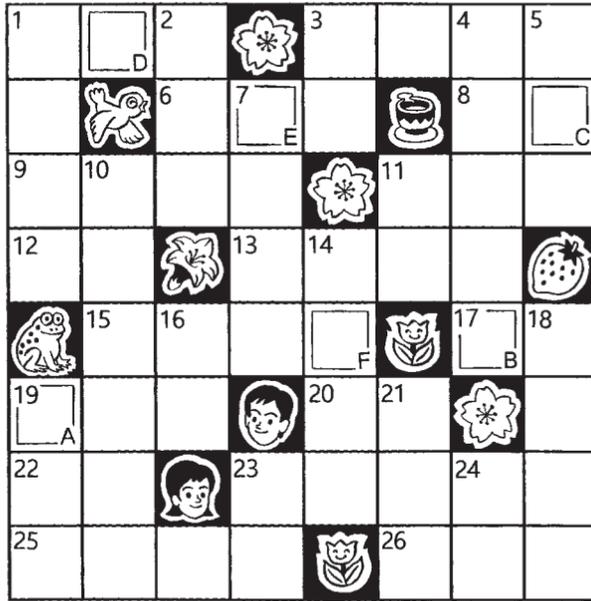
鍋でお湯を沸かし、卵が割れないようにレードルにのせて、そっと入れていきます。ゆで卵の黄身が偏らないように、菜箸で軽く転がしてください。

ゆでる時間は半熟が7〜8分、固ゆでは12分。時間になったら冷水にとって、冷ましてから殻をむいてください。

みなさん自慢の郷土料理レシピを募集します。郷土料理のレシピと、完成した料理の写真一枚を添付し、九段事務所まで郵送またはメールでお送りください。

脳トレクロスワード

Answer grid with letters A-F and numbers 1-26.



ヨコのカギ

- 1 「弥生」の次です
3 ローンをすべて返済
6 貝の殻を取りました
8 容疑が濃厚です
9 百貨店の食料品売り場をこうも言います
11 ユーロ以前のフランスの通貨単位は?
12 古代中国の王朝
13 竜のあごの下にあるというところ
15 ……庁は経産省の外局
17 小さな火事
19 幼児には必要です
20 地球の表面積の約7割
22 高揚感。……になる
23 女郎花って読めますか
25 大相撲の地位の一つ
26 理髪店です

- タテのカギ
1 大きな差。……の差
2 朝鮮半島の代表的発酵食品
3 付け加えることです
4 収穫量日本一は山形県
5 違う意見のこと
6 オペレッタ
7 無言劇とも言われます
8 人の……見てわが……直せ
9 関心が尽きませんね。
10 ……津津
11 鹿児島県出水市は……
12 の日本一の渡来地です
13 大根……、千両……
14 十八番
15 東京都、名古屋、大阪市にある……区
16 着物には欠かせません
17 環境に配慮します

スマホかパソコンで検索してみてください



★抽選で毎月3名様に素敵な景品をお送りします。(締切は毎月20日消印有効)
①郵便番号 ②住所
③氏名 ④電話番号
を明記の上、葉書にてお申し込みください。
【答えの送付先】
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
霊断師会九段事務所 宛
◎先月号の答えは「シャオンカイ」
三月号クロスワード当選者
①島根県出雲市 佐藤富子様
②愛知県名古屋青木 豊様
③岩手県遠野市 別所泰子様
※景品は「よろこびちゃんトートバッグ」です。皆さんぜひご参加ください。

時には怒れ!!



岩田先生の心も体も生き生き!

怒り、アルコール、職場でのうたた寝… 体に悪い、役立たないと言われていることの筆頭ですが、なんでも我慢するのが体にイイわけではないようです!

心理学誌の研究によると、気に入らない作業をサッサと済ませることや、必要なものを獲得するための競争に強くなることに『怒り』が非常に役立つのだそうです。



(例: バーゲンセール現場など!)
この効果は、特に女性に強いとのこと(笑)
また、怒りのようなネガティブな感情を解放することは、ストレスや不安、そ

宮崎県 龍雲寺聖徒 薬師整骨院 岩田行敏院長

して、不満を抑圧することから起きる害を減少させます。



気に入らないことをグッと飲み込んで一人静かに沸騰していると、うつ・肥満・免疫力低下に関連するホルモンのコルチゾールが増加します。

怒りのエネルギーを飲み込んで、そのエネルギーは消えず、別の形に変化するの、みなさん経験済みだと思います。

上手にエネルギーをリリースしてあげると「仕事の効率にも健康にもいい!」ということですね。

でも、怒りの解放は、相手を傷つけることとは別物ということをお忘れなく!

よろこび法話

師厳道尊 ～ひたむきな心～



宮崎県 龍雲寺聖徒団団長
靈断院弘宣局教宣部長

吉田憲由

「みなさんの師(先生)は誰ですか?」
「目を閉じると顔が浮かんできますか?」

九州の剣豪宮本武蔵は『我以外は皆、師である』と言われています。振り返りますと私は今まで沢山の師に出会い教え導かれてきたことを実感いたします。師父上人はもちろん、家族・靈断



師会本部での先輩・法友・檀信徒の皆さん、全てのおかげさまが私の師であり、今の私を作っているのです。特に私に僧侶として道・心構えを教えて下さった師が島根県妙本寺の吉田亮善先生です。

初めて先生とお会いしたのは、平成十年、靈断の修行に行った時でした。亮善先生の迫力のある大きな声。心根の太い信仰。その熱い講義に、正に目から鱗が落ち「こんな私でもお祖師様のお役に立てる!衆生を救済していける」と雷が落ちたような衝撃を受け血沸き肉躍ったことを覚えています。

『先生のようにになりたい』『先生のように布教していきたい』と憧れ、先生の門を叩き今日までの二十年、本当に沢山の事を学ばせていただきました。お茶くみ(コーヒー入れ)から始まり身のお世話、先生の言われることを漏らさぬようにメソシ小判サメのように歩いて歩きました。

教える方は「見て覚えろ。頭でなく体で覚える」なのでことさらに詳しく教えて下さいません。しかし「坊主はお経と説教!檀信徒に有難かったよ!」と言っていたら

けるお経、そしてお説教をしていきなさい」と背中であげて下さいます。

特別にお説教には殊の外厳しかった。普通は正月から一年が始まるのが当たり前ですが、私の始まりは五月三日からです。何故かと言うと、その日島根の先生のお寺で一年かけて作ってきたお話を亮善先生、そして妙本寺の聖徒さんの前でお説教をさせていただくのです。そしてその後先生に厳しく講評をしていただき手直しをして、その話を一年間お説教をして行くのです。ですから私の一年は五月三日に始まり五月二日に終わるのです。それをコロナ禍になるまで十五年間毎年欠かさずにさせていただきました。説教の後の先生の講評は、それはそれは立っていられないくらい叱られます。しかしたまに励まして下さいます。

「憲由。お前は本当に不器用だな。でもそこが前回の良い所だ!坊主は不器用な方がいい!不器用な人の方が、ひたむきさを持っている。」「器用な人は、確かに物事を素早く吸収して上達は早いけれど、難しいことや、出来ないことに対しては、簡単に諦めてしまうものだ。逆に不器用であれば、たとえ失敗したとしても、難しいことにも腰を据えて出来るまで根気強くやるもんだ!憲由!諦めずに頑張れよ!」と背中をポンと叩いて励まして下さいます。それが励みとなって今日まで歩んで来れました。

日蓮大聖人は『上野殿御返事』で「法華経を信する人あり。或は火のごとく信する人もあり。或は水のごとく信する人もあり。聴聞する時は燃立ばかり思へども、遠ざかりぬれば捨つる心あり。水の如くと申すはいつも退せず信する也」とお示しです。法華経を信仰するということは、熱しやすく冷めやすい火の様な信仰ではだめだよ。いつまでも変わる事のない水の流の様な信仰でなければいけないよ。我々の人生も同じこと、色んなことはあるけれど、あきらめずに水の流のようひたむきに生きていく事こそ大切なのだとご教示下さっています。そして亮善先生もお経やお説教・靈断を通して、厳しい言葉の中「ひたむきな心」の大切さを私に教えて下さっていたのです。「師厳道尊〜師厳にして然る後に道尊し〜」

森羅万象全てを師と受け取め、これからも団長上人・聖徒団のみんなと共に俱生神月守を着帯し、お題目を唱え、お題目を持ち・行い・護り・弘める尊い道をひたむきに歩み続けて参りましょう。

御本仏様は、振り返った時に必ずあなたに一番合った形で願いを叶えて下さいます。

あなたに一番合った形で願いを叶えて下さいます。

あなたに一番合った形で願いを叶えて下さいます。



本誌イラスト 小川けんいち

ほつと絵手紙

「ほつと絵手紙」を募集いたします。左記の宛先まで! 101-0051 東京都千代田区神田 日蓮宗全国靈断師会連合会 九段事務所

愛知県 小川秀雄さんの絵手紙です。ありがとうございました。

全国のよろこびちゃん vol.103

プロ野球北海道日本ハムファイターズ 新球場パーク建設地 北海道北広島市 昌福寺聖徒団 (野中隆謙団長)

中本 希依ちゃん

お祝いちゃんからもらったお守りのお陰もあって、無事に令和三年十一月十四日、二時三十分、生まれました。これからもお守りを頂戴して、健康やかに育ちますように。

俱生神月守

毎月身延山で開眼・祈願し皆様の聖徒団に届きます

●家族みんなで持ちましょう。●経営者の方は、是非従業員皆で着帯しましょう。(異体同心の職場になります)

正蓮寺

日蓮宗靈断師会連合会 会長 正蓮寺聖徒団 団長 大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1 TEL 0436-52-0207 FAX 0436-52-2288

利生寺

靈断院院長 利生寺聖徒団団長 末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10 TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

長栄寺聖徒団 梅田 亨さん

父母、兄、ご先祖様へ 毎日お経をあげています。 三松山 長栄寺

〒100-0402 東京都新島村本村3-1-4 TEL 04992(5)0168 FAX 04992(5)0111

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団 団長 小泉 輝泰 「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002 千葉県南房総市千倉町川合690-1 TEL 0470-44-1062 FAX 0470-44-1524

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀 副住職 阿部 是眞

〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1 電話 0198-67-3166 FAX 0198-67-2227